



連合ニュース

【第33号】

発行日/2017年1月13日(金)
発行元/日本労働組合総連合会福島県連合会
会津若松地区連合会
発行人/石井 陽一
編集人/田中 秋広
印刷/三洋印刷株式会社 TEL.0242-24-3667
〒965-0026
会津若松市平安町3-3 会津協働会館内
TEL.0242-24-0500 FAX.0242-24-0564



2017年頭のごあいさつ

「クラシノソコアゲ応援団」として・地域に顔の見える労働運動！共にガンバロウ！

連合福島会津若松地区連合会
議長 石井 陽一

各構成組織並びに加盟組合、そして全ての働く仲間の皆さん、明けましておめでとうございます。

また、旧年中は、地区連合運動の推進にあたり、ご理解とご協力を賜りましたことに御礼を申し上げます。

さて、第25回定期大会において、議長という大役につきまして早一年が経過いたしました。多くの社会問題・課題が山積するなか、地区連合としては「クラシノソコアゲ応援団」2016RENGOキャンペーンを中心に、取り組みを推進してまいりました。これまでの取り組みにあたりまして、心強いご尽力に感謝申し上げます。また、2017年度のスタートにあたり昨年12月1日に第26回年次大会を開催し、中間年との位置づけのもと2016年の活動を振り返り、これまでの状況変化を踏まえて向こう一年間の運動方針を補強しました。微力ではありますがこれまで通り熱い思いを込めて、連合運動前進のため精進してまいります。そして皆さんと共に歩んでまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

さて、働く者の労働環境、生活者の環境は長いトンネルから抜け切れず依然厳しい状況が続いております。人口減少・少子高齢化が加速し、格差拡大、非正規雇用比率は増加、雇用・労働環境もブラック化と言われるほど悪化、さらには子どもの貧困問題など、連合として取り組むべき多くの課題が山積しております。引き続き「クラシノソコアゲ応援団」RENGOキャンペーンを軸に取組みを進めてまいります。これは、働く仲間一人ひとりを応援し行動していくものであり、地区連合としては、このような社会・労働問題について一般市民の皆さんへ提起し、世論をつくりあげていくことが重要です。今年度も働く全ての仲間の底上げ・底支えを図り、働くことを軸として安心社会の実現に向けて、「福島復興・創生に全力を尽くそう！ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者を連合の輪へ 安心社会を切り拓こう！」の大会スローガンに基づき、運動を推進していかねばなりません。

また、安倍政権の経済政策の根拠である、IoTやビックデータ、人口知能など急速な技術革新による「第4次産業革命」が進行しております。これらは人手不足の解消につながることも期待されている一方、既存の仕事の減少や必要とするスキルの変化なども想定されることであり、さらなる格差が懸念されるものであります。

このような状況において、労働組合の果たすべき役割や社会的責任は、益々大きくなるものと自覚しなければなりません。今後の動向を見極めながら、変化に対応した運動が必要不可欠であり、組織力、企画力、実行力、労働組合としての力もさらに高めたいかなければと考えております。地区連合としては、関係関連組織との連携のもと、世論をつくりあげていくことが地域・地区連合としての重要な役割であることを肝に銘じ、活動してまいります。

いずれにしましても、会津若松地区連合は連合福島・各構成組織・加盟組合・組合員と輪になって、職場・地域の最前線の組織として、職場・地域社会の皆さんの身近な存在であることを自覚しながら、取り組みを推進してまいります。皆様の引き続きの深いご理解と心強いご支援をお願いしまして年頭のごあいさつといたします。

共にがんばりましょう！

会津若松地区連合第26回年次大会報告

全ての働く者の幸せのため、「働くことを軸とする安心社会・福祉型社会」の実現に向け、地区連合ならではの連携と、地域密着・地元根差した顔の見える運動を心がけ、社会的責任・役割を果たしていくことを誓いました。

スローガン：福島復興・創生に全力を尽くそう！
ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者を連合の輪へ「安心社会」を切り拓こう！

日時：2016年12月1日(木) 18時～
場所：市内白虎町(会津若松ワシントンホテル)
構成：代議員50名中49名出席
役員23名中21名出席
来賓：連合福島・加藤事務局長
民進党第4区総支部長・小熊慎司衆議院議員
社民党会津若松総支部・小川右善代表
連合政治政策フォーラム議員団
(渡部優生県議・水野さち子県議・佐野和枝市議・村澤智市議・高梨浩市議・小倉将人市議・松崎新市議・丸山さよ子市議・譲矢隆市議)
東北労金若松支店・堀内勤支店長
全労済会津支所・舟山英仁支所長
大会役員：〔議長 団〕佐藤浩二代議員 (JR総連)
菊地吉光代議員 (運輸労連)
〔資格審査委員長〕渡部雄一代議員 (JAM)
〔大会運営委員長〕野地誠一代議員 (電力総連)



挨拶する連合福島加藤事務局長



大会議長の佐藤浩二氏 (JR総連) (左)・菊地吉光氏 (運輸労連)

議事：報告事項 ①2016年度活動報告
②2016年度一般会計決算報告
③2016年度一般会計監査報告
議案第一号 2017年度運動方針(案)について
*採決の結果、満場一致で承認される。
議案第二号 2016年度剰余金処分(案)及び2017年度予算(案)について
*採決の結果、満場一致で承認される。
議案第三号 その他(役員の変更と表彰について)
今年次大会は、役員の変更期ではないが、組織事情により役員退任の意向に伴う取扱いと、表彰内規に準じ記念品の贈呈について提案。
*採決の結果、満場の拍手をもって承認される。

そして、決定した2017年度運動方針の取り組みスタートを期す大会宣言案を採択し、石井陽一議長が力強いがんばろう三唱で年次大会を終了しました。



石井議長の前頭でガンバロウ三唱

「クラシノソコアゲ応援団」RENGOキャンペーン街頭行動

厳しい労働環境・生活環境を踏まえて、連合本部の「クラシノソコアゲ応援団」連合キャンペーンに連動し、会津地区連合として一般労働者・市民啓発を意識し、街頭より訴えました。

連合政治政策フォーラム議員の皆様にも、一人ひとり激励のご挨拶をいただきました。

- 日時：12月22日(木) 17時20分～
- 場所：市内神明通り
- 内容：①最低賃金の引き上げ
②子供の貧困問題…奨学金制度の改善
③労働環境改善…労働相談ダイヤル
- 行動内容：チラシ及びティッシュの配布、街頭啓発アピール
- 対応者：地区連合役員の方を中心に対応しました。
佐野市議会議員・松崎市議会議員・高梨市議会議員・小倉将人市議会議員・丸山市議会議員・譲矢市議会議員に応援いただきました。



会津地域労福協研修会「自主福祉運動」

会津地域労働福祉協議会主催の研修会を開催しました。福祉活動「労働者自主福祉運動」の推進にあたり、若い世代を中心に、歴史から学び運動の必要性を再認識していただければとの思いで開催いたしました。改めて、歴史を振り返り、労働者福祉運動の原点に立ち戻り取り組みを推進していかなければと認識しました。

- 日時：11月9日(水) 18時30分～
- 場所：会津稽古堂
- テーマ：「歴史から学ぶ労働運動・労働者自主福祉運動の理念、課題」～労働金庫・全労済の誕生と労働組合の関わりを中心に～
- 講師：高橋 均氏(中央労福協アドバイザー)
- 出席者：44名



高橋講師



1人暮らし高齢世帯除雪ボランティア「スノーバスターズ」の取り組み

除雪ボランティアは、私ども地域を代表する労働団体として社会的責任を重んじ、地域社会への貢献として継続して取り組みをすすめてきております。連合の機動力を活かした取り組みとして、今シーズンも実施に向けて準備いたします。登録のほどお願いいたします。

昨シーズンは、極端に積雪量が少なく活動機会がないまま冬シーズンが終わりましたが、今シーズンの本格的な冬将軍到来によって、手助けを求めるニーズがあることを想定し、備えをしていきます。

今回も、除雪の助けを求める高齢者を中心に一人暮らし高齢世帯の除雪支援を行おうとする日を予め設定して、当日行動参加をいただける方の登録により、各回それぞれ20名程度での行動といたします。

会津若松市社会福祉協議会様と連携しながら、スケールメリットを活かし一般ボランティアでは手に負えないような場所(凄量の吹き溜まり家屋や排雪を必要とする箇所)を重点的に担当させていただきます。この取り組みは、各構成組織・加盟組合の深いご理解とご協力、あくまで自主性・使命感を重んじてのボランティアでありますので、どうぞすべての構成組織参加の取り組みとして、特段のご理解とご配慮をいただければ存じます。

- 〔第1次行動〕 日時：1月28日(土) 9時～
- 〔第2次行動〕 日時：2月11日(土) 9時～
- ◇場所：市内平安町「連合事務所」集合にて、打ち合わせ後担当現場へ
- ◇内容：一人暮らし高齢世帯を中心に家屋回り(高所には登らない)の除雪を行う。
- ◇規模：除雪器具数や移動を踏まえ、20名程度の設定とします。

第28回勤労者作品展

作品展は28回目をかぞえ、市文化祭行事としても定着し、今開催も多くの作品を出品いただき展示することができました。そして、展示会場へは多くの方が来場され、成功裡に終えることができました。運営を支えていただきました実行委員及び各構成団体・労働組合の皆様方、関係された皆様のお陰様でございます。また、作品展を通じて会津から元気を発信することができました。本当にありがとうございました。今回は、個別テーマ「働く姿」の部を、フィルム・デジタルの区別なく出品可いたしました。昨年より多くの出品数であり、やはり勤労者の作品展ということも大変好評でした。

- ◆作品展開催日時・場所
(1)日時 2016年11月3日(木)～5日(土) 3日間(約600名の来場)
- (2)開催場所 会津若松市文化センター(特設展示場と展示室兼会議室)
- ◆出品作品
(1)フィルム写真の部 11点 (2)デジタル写真の部 62点
(3)働く姿(写真)の部 16点 (4)書画の部 20点 (5)絵画の部 12点
*賛助出品 書 2点 絵画 1点
- ◆主催及び後援・協賛について
(1)主催 第28回勤労者作品展実行委員会(会津若松地区労福協・会津若松地区連合)
- (2)後援 会津若松市・会津若松市教育委員会・福島県労働福祉協議会
- (3)協賛 写真とカメラサイトウ、会津画材、丸鈴堂書道センター、会津地域連合関係団体・企業・商店など40余り
- ◆表彰式・受賞祝賀懇親会
各部門共に会津若松市長賞・会津若松市教育長賞・実行委員長賞の各金賞の他、銀賞作品を表彰しました。
(1)日時 2016年11月21日(月) 17時45分～
(2)開催場所 プライダルネッサンス中の島
(3)参加者 会津若松市教育部長、審査員、協賛団体、受賞者、実行委員



(表彰式)